

令和2年度 磐田市高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク会議 次第

1 議 事

- ① 高齢者・障がい者虐待の発生状況について

資料1、 資料2

- ② 虐待防止の啓発等について

資料3

- ③ 障害者差別解消について

資料4

2 その他

成年後見制度について

資料5

## 令和2年度磐田市高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク会議 意見書(回答)

議 事	意見
1. 高齢者・障がい者虐待の発生状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の中で、被虐待者の介護認定のない方が国や県の比率より多く45.5%もあることが気になりました。①家族関係の複雑さ②虐待者自身が困難さを抱えている(精神疾患や引きこもり)等の理由があるのか。分析できるといいと思いました。</li> <li>・令和2年度の虐待対応(発生)状況を承知しました。特に意見・質問はございません。</li> <li>・虐待行為者の虐待理由や本人の弁が今後の資料に反映されれば、警察その他の機関の活動に生かせると感じた。</li> <li>・年々と障害者虐待が減少傾向にあるのかと資料から伺えます。社会全体が虐待防止への取り組みが強化されて来ているのかと感じます。</li> <li>・微増ではあるが虐待件数が増加していることは問題と思われまます。</li> <li>・相談通報者の多くを介護支援専門員や介護保険事業者職員が占めており、そのことは良いことではありますが、介護認定を受けていない方に被虐待者が多いということは他人の目につかない隠れた虐待の多さが懸念されます。</li> <li>・地域の広い意味での見守りが必要なのではないのでしょうか。</li> <li>・私自身も今年度は通報したことがあったが、通報の件数が上がっているのはいい事だと思う。</li> <li>・通報者に警察が多いことに驚いた。交番の方との連携を持てればいいと思う。</li> <li>・障がい者の虐待通報件数がイメージしていたより随分と少なかった。虐待と気づいていないケースが多いのではと思った。</li> <li>・高齢者は虐待行為を受けていても虐待と認識しないで「自分がこんな体になってしまって自分が悪いのだ」と言うような気持ちになってしまい訴えないケースもあると思います。「辛かったら我慢せず相談すればよい」という感覚を啓発していく必要があると思います。</li> <li>・例年のことですが、障がい者の虐待(擁護者による、障がい者福祉施設受持者による)が少ないか、0というのが気になりました。</li> </ul>
2. 虐待防止の啓発等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待してしまう心情を理解し、共通点を探って自分を見つける方法のPR</li> <li>・コロナの影響で今年是对面の啓発活動ができず残念でした。県初グッズのマスクとアルコールジェル等その時にあったグッズを作るのはとても良いと思います。一般の方が受け取りたくなるようなグッズを渡して少しでも興味を持っていただきたいですね。</li> <li>・非接触による啓発として動画を作成し、交流センターや市役所で流してみてもどうか。</li> <li>・ケアメン講座はとてもよい企画です。</li> <li>・啓発活動を通じて虐待が減少していくことと、早期対応に繋がれることを期待する。</li> <li>・啓発の資料を見る・読む機会がまだまだ少ないと感じた。</li> <li>・啓発物品は今回同封されていたマスクなどでしょうか。啓発の文章の文字が小さく情報いっぱいですね。短くインパクトのある言葉で訴えてはいかがでしょうか。</li> <li>・ケアメン講座を継続してくれていることを知り、うれしく思います。ありがとうございます。</li> <li>・障がい分野での啓発が少ないと感じています。虐待防止センターとして啓発を進めていきたいと思っています。</li> </ul>

<p>3. 障害者差別解消について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番困っている人に足並みをそろえる心構えを持つ。しかし、今の競争社会では…。誰でもが普通に暮らせる社会。</li> <li>・相談実績を見ると、あからさまな障害者に対する差別は減少傾向にあるかもしれませんが、日常の中ではまだまだあるのではないかと思います。一般向けの啓発活動が何らかの形ででき、誰もが平等に暮らせる磐田市になるといいですね。コロナ差別も含め「差別をしない」ということを積極的に取り組みたいです。</li> <li>・差別件数減少傾向にあり、よい傾向であると思います。</li> <li>・啓発を通じて日常生活や就学・就労の差別解消に繋がっていくことに期待する。</li> <li>・障害分野での啓発が少ないと感じている。虐待防止センターとして啓発を進めたいと思います。</li> <li>・市の様々な審議会などにどんどん出ていただくなど障害のある方たちが行政と関わる機会を増やしていくことが必要と思います。</li> </ul>
<p>4. 成年後見制度について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の一步前、一人暮らしの高齢者宅への定期的訪問。耳の聞こえが悪くなるに従い、玄関が施錠されてくる。</li> <li>・市長申立の案件がまだまだあると思います。(司法統計と比較)</li> <li>・成年後見制度については、広報等の啓発はとても有効だと思います。広報いわたに載ると相談に来る方が増えたりするので、今後も認知症の高齢者や障がい者の権利がきちんと守られるよう一般市民向けの啓発を進めていきたいですね。</li> <li>・成年後見制度利用促進の中核機関の整備の進捗状況について説明があればよいと思いました。</li> <li>・成年後見制度の情報提供を広報いわたで大きく取り上げて頂き、周知できたことが数字上にも表れているので、継続して頂きたいと思います。</li> <li>・制度の利用はそれほど伸びていないのかもしれませんが。さらに市民に広く知らせていく必要があると思います。</li> <li>・研修で学ぶ機会が複数回あった。周知・啓発の取り組みは良好だと思う。</li> <li>・制度について動画などでわかりやすく解説したツールを作り広めてはいかがでしょうか。</li> </ul>
<p>5. 会議の開催時期について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期の決定は委ねます。もっとも、開催時期の委員への打診・調整は予定を入れる関係上、なるべく早めをお願いします。</li> <li>・現状のままで良い。</li> <li>・集計の都合もあるので、良い時期に開催していただきたい。</li> <li>・1月の開催は、感染対策上問題はあるかもしれませんが、調査結果の公表に合わせて頂くと状況確認、周知が理解され今後の対策に反映されると思います。</li> <li>・従来の開催時期から変更したいということでしょうか。現状から開催時期を変更する利点がありませんでしたので特に意見はありません。</li> <li>・年度末に1回だけ開催することは報告だけにとどまりあまりこの会議の意味をなさない気がします。年度の早いうちに開催し、委員の意見を反映した啓発等の活動に繋がることもよいのでは。</li> <li>・コロナ禍において集合しての会議はまだ望ましくないとされます。リモートでできればよいのですが、それが無理なら今回のような資料提供と年1回程度の開催でいかがでしょうか。</li> </ul>

6. その他	<ul style="list-style-type: none"><li>•高齢者障害者への虐待は、私たちは家族がいれば「安心」という見方をしがちですが、当事者の立場を思うと、四六時中叱ったり、虐待したりしているわけではなく、その一瞬に心の怒り興奮が虐待行為に通じるのであって、身近に常に介護や世話をしている人同士の話し合う場や経験者が話を聞く場を定期的に設けられたらいいなあと思うし、そういう場の広報が常時あるとよいと思う。</li><li>•コロナ禍の中、虐待される人、反対に虐待をしてしまう人の両方を救うためには、精神的に追い詰められた養護者の心を癒してあげられるように家族全体を地域ぐるみで支援してあげることが、やがて家族関係の回復に繋がり、障害のある人もない人も共に認め合いながら暮らせたらいいなと思っています。</li><li>•内容が報告だけにとどまってしまうので、もう少し具体的な話ができるとういと思います。以前には個人情報には気を付けながら事例報告等をしたこともあり、委員の方に実際の内容を知っていただき意見が貰えるとういと思います。個人的には警察の対応例とかも聞いてみたいです。</li><li>•虐待はあってはならないが苦情の芽と同じで疑いも含め受付、整理、情報共有が同じフォーマットを使用し適正に対応できる仕組みを是非お願いします。</li><li>•本会議を通じて関係機関のネットワークがより強化され、権利擁護体制がますます充実していくと良い。</li><li>•成年後見制度について、障害のある方自身が必要性を感じる事が難しい。周囲の心配だけで申立てを検討するケースがあると思います。</li><li>•障がい者差別解消について、障害のある方が我慢していることがあるかもしれません。声を上げやすい仕組みを障害者支援センターとしても考えていきたい。</li><li>•令和2年度は感染症流行により利用控えが多く、家族負担が大きく家庭内虐待増加傾向にあるという報道があるが、市内でも表れがあるのか。家族負担軽減を考えると福祉サービスの重要性がわかってくる。しかし福祉現場はどこも人手不足で万全の感染対策をしたうえで利用者を受け入れるように言われても難しいのが本音です。福祉サービスが、もっと使いやすくなる制度と職員が充足する状況を作り出すことが大事ではないかと考えます。</li></ul>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

議 事	質 問	回 答
<p>1. 高齢者・障がい者虐待の発生状況について</p>	<p>・前年度資料と比較確認したところ、元年度実績が1～3月の3ヶ月で急増したとみられるが、コロナウイルス感染拡大による影響と関係があるか。(社協)</p> <p>・主な虐待者で息子の割合が30年度と比較して倍増している。息子は退職者か就業中の者か。</p> <p>・高齢者虐待について、虐待の続柄が息子が最も多いとあるが、息子の配偶者の有無、高齢者と息子の2人世帯なのか、息子は職業を持っているのか、どのように分析されているのか知りたい。</p> <p>・被虐待者の介護度で、認定無しの割合が最多だが、自立している者か、未申請の者か。</p> <p>・被虐待者の内訳で介護認定なしが最も多いのは訴えることができるからであり、介護度の高い人が少ないのは通報することができず、潜在していると考えられるか。</p> <p>・通報者が介護支援専門員、介護保険事業所職員が多いとあるが、介護保険対象外の高齢者をどのようにフォローしているか知りたい。</p> <p>・警察が市で8(21.1%)になっていますが、どのような事例があるか知りたいです。</p> <p>・市が分離を行った事例が14(42.4%)と高いように思いますが、どのような事例があるのかを知りたいと思いました。</p> <p>・養護施設従事者による虐待数が市では0になっています。市の職員の感じ方としてどうでしょうか。本当に虐待が0であればうれしいのですが通報等の機能が弱いのではないかと危惧しています。</p>	<p>・虐待と判断した事例の発生要因からは新型コロナウイルス感染症拡大による影響が関係しているとは考えにくいものでした。</p> <p>・高齢者と息子との2人世帯とそれ以外の世帯(3人以上の複数世帯など)の割合は約半々でした。息子が不就労の割合は約7割という状況でした。息子が多い要因としては、慣れない家事や介護でストレスがかかったり、男性は一人で抱え込み周囲に相談しない傾向にあることも考えられます。</p> <p>・自立により未申請の者が多い状況です。介護度が高い方が少ないのは、何らかの介護サービスを利用していることで養護者の負担やストレスが少ないことが考えられます。</p> <p>・民生委員への協力依頼、広報誌等の掲載、啓発物品の配布等により一般市民等への啓発を行っています。地域包括支援センターとも連携を図り地域での見守り体制を強化し早期発見に繋がるように努めています。</p> <p>・警察からの通報は、本人自らが警察に暴力を受けたなどと相談した事例が多く、他には大声が聞こえたなどの近隣通報により警察が実態把握をした事例がありました。分離を行う事例は生命や身体にかかわる危険性が高いと判断した場合に行っています。</p> <p>・全国規模では相談・通報および虐待判断件数は過去最多となっています。管理体制や職員間の関係性から通報に至らないケースも考えられます。事業所向けの研修を開催し虐待の意識の向</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の被虐待者の性別と障害区分、虐待者の性別の割合を教えてください。</li> </ul>	<p>上を図っています。</p> <p>介護サービス事業所の運営基準改正により、委員会の開催、指針の整備、研修の実施等が義務づけられることになり、今後も防止体制等の整備の推進を図っていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度の通報5件は、被虐待者の性別は男性1、女性4、障害区分は、精神3、知的1、身体1、虐待者は男性4、女性1となっています。</li> </ul>
4. 成年後見制度について	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬助成件数は年々増加しているが、市長申立件数はほぼ同数となっている。相談が少ないのか、申立に至る件数が少ないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申立てに至る件数が少ないと捉えています。相談から市長申立てにまでのフローを関係機関に示したことで令和2年度は増加しており、今後、申立て件数は増加することが見込まれます。</li> </ul>
6. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク会議の委員に障がい当事者団体からの代表は入っていないのですか。設置要綱では読み取れませんでした。</li> <li>令和2年度の数字及び把握状況はコロナ禍に伴っての変化が加味されていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要綱で規定されている介護福祉関係機関の代表者として、障害者事業所・障害者当事者団体から2名の委員が委嘱されています。</li> <li>令和2年度は12月末時点の状況です。発生状況から明らかに新型コロナウイルス感染症の拡大が要因と考えられる事例はありませんでした。</li> </ul>